

# 東日本大震災と後藤新平

〈二〇一一年度「後藤新平の会」シンポジウム〉

〈パネリスト〉青山 侑

赤坂憲雄

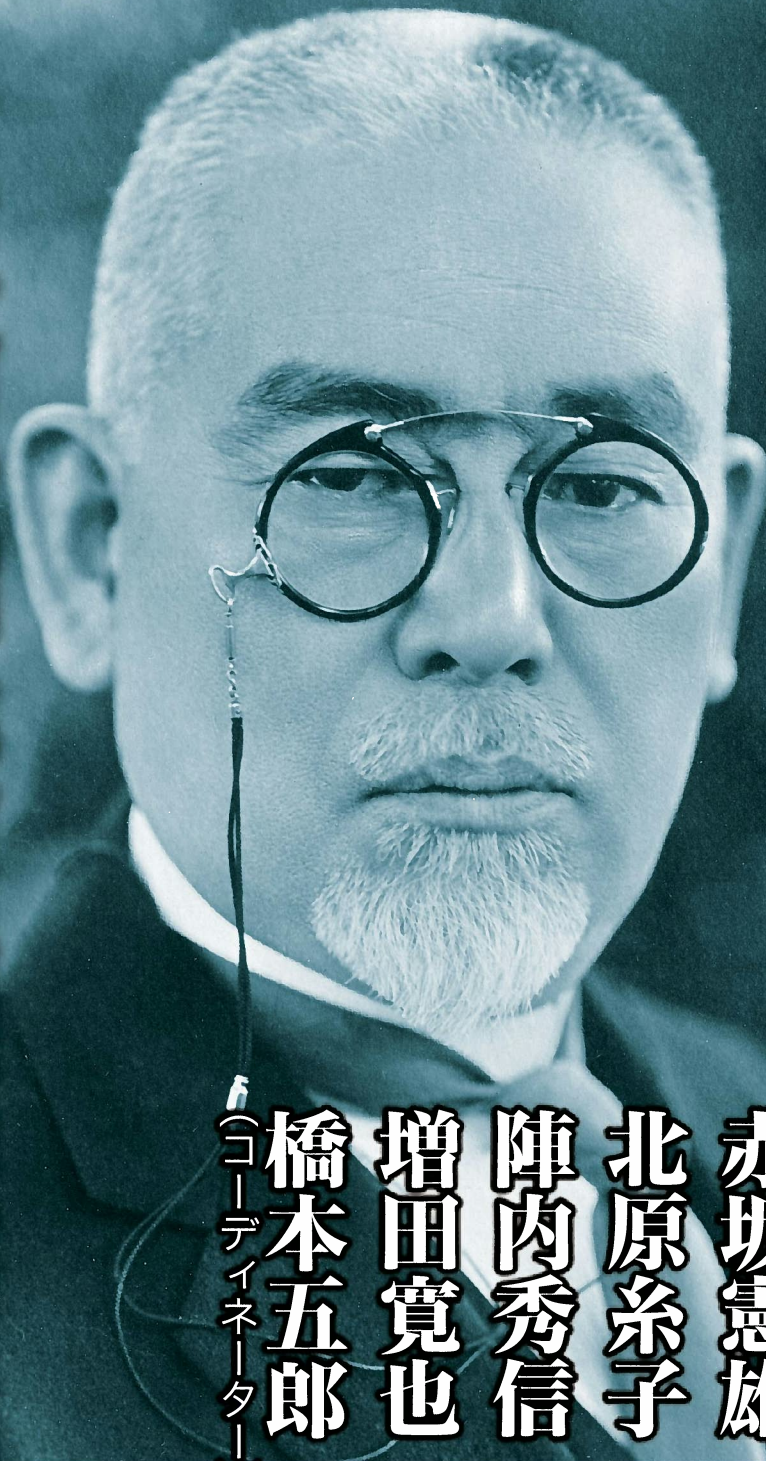
北原糸子

陣内秀信

増田寛也

橋本五郎

〈コーディネーター〉



八八年前の「帝都復興院総裁」後藤新平から、  
いま我々は、何を学ぶことができるか？

【日時】 2011年7月16日(土)

午後12時30分開場 / 1時開会

【会場】 日本プレスセンタービル10階ABCホール  
(東京都千代田区内幸町2-2-1 / 定員300名)

【入場料】 〈一般〉2000円 〈学生〉1000円

【主催】 後藤新平の会

【後援】 藤原書店

【申込み・問合せ】 後藤新平の会事務局

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町523 藤原書店内

電話03-5272-0301 FAX03-5272-0450 <http://goto-shimpei.org/>

# 八八年前の「後藤新平」から何を学ぶか？

三月十一日午後二時四六分頃、東北地方太平洋沖でマグニチュード九・〇の地震が発生、沿岸の幅広い地域を津波が襲った。さらに沿岸部に建設されていた福島第一原子力発電所の損傷により、放射能による汚染が拡がっている。いずれも、まだ事態は進行中であり、被害の全体像も、復興への道のりも明らかではない。

今から八八年前に発生した関東大震災の際には、組閣まもない山本権兵衛内閣の内務大臣後藤新平（1857-1929）が、早くも地震発生の日後に「帝都復興の議」を発表、また自ら提唱して設立した帝都復興院の総裁を兼任するなどして、非常時における迅速な対応を先導した。

時代の違いのみならず、首都と地方都市、火災と津波、原発というフアクターなど、この二つの大震災は必ずしも同一視できないのはたしかだが、後藤がまず第一に発した「復旧ではなく復興を」という提言は、時を超えて、現代の我々がこの震災に向き合うための足がかりとなっている。

本年のシンポジウムでは、都市・災害の専門家、また東北と縁の深い方々を招いて「東日本大震災」からの復興に向けて後藤新平から何を学ぶかを論じてみたい。

## パネリスト・プロフィール

### 青山侷 Aoyama Yasushi



1943年生。明治大学公共政策大学院教授。都市論、日本史人物論、自治体政策。67年都庁入庁。99～03年、石原慎太郎知事の許で東京都副知事。2004年より現職。著書『石原都政副知事ノート』（平凡社）、郷仙太郎名義で『小説 後藤新平』（学陽書房）等。

### 赤坂憲雄 Akasaka Norio



1953年生。東北芸術工科大学教授、同東北文化研究センター所長を経て学習院大学文学部教授。福島県立博物館館長。99年、責任編集による『東北学』を創刊。著書『東北学／忘れられた東北』（講談社学術文庫）『岡本太郎の見た日本』（岩波書店）等。

### 北原糸子 Kitahara Itoko



1939年生。立命館大学歴史都市防災研究センター教授。日本災害史。著書『安政大地震と民衆』（三一書房、後に『地震の社会史』講談社学術文庫）『磐梯山噴火―災害から災害の科学へ』、編著『日本災害史』『写真集関東大震災』（以上吉川弘文館）等。

### 陣内秀信 Jin-nai Hidenobu



1947年生。法政大学デザイン工学部教授。特定非営利活動法人歴史建築保存再生研究所理事。中央区立郷土天文館（タイムドーム明石）館長。『東京の空間人類学』（筑摩書房）でサントリー学芸賞（社会・風俗部門）受賞。

### 増田寛也 Masuda Hiroya



1951年生。株式会社野村総合研究所顧問。元総務大臣、前岩手県知事。77年建設省入省。千葉県警、茨城県の課長を歴任。94年建設省退官。95年より07年まで岩手県知事（3期）。07年より08年まで総務大臣。09年4月より現職。

### 〈コーディネーター〉

### 橋本五郎 Hashimoto Goro



1946年生。読売新聞特別編集委員。論説委員、政治部長、編集局次長を歴任し、06年より現職。2011年までNTV系「ズームイン!! SUPER」に出演し政治・政局解説を務める。著書に『範は歴史にあり』（藤原書店）等。

## 後藤新平とは……



一八五七年、水沢藩（岩手県）の医家に生まれ、藩校をへて福島の須賀川医学校卒。一八八〇年（明治13）、弱冠23歳で愛知県立病院院長兼愛知医学

校長に。板垣退助の岐阜遭難事件に駆けつけ名を馳せる。八三年内務省衛生局技師、ドイツ留学後同局長。相馬事件連座のため衛生局を辞すも、陸軍検疫部にて日清戦争帰還兵の検疫に手腕を発揮し、衛生局長に復す。

一八九八年、総督児玉源太郎のもと台湾民政局長（のち民政長官）に抜擢、足かけ九年にわたり台湾近代化に努める。一九〇六年、初代満鉄総裁に就任、満洲経営の基礎を築く。

一九〇八年より第二次・第三次桂太郎内閣の通相。鉄道院総裁・拓殖局副総裁を兼ねた。一六年、寺内正毅内閣の内相。ついで外相としてシベリア出兵を主張。

一九二〇年東京市長となり腐敗した市政の改革を唱導。在任中の二三年、ソ連極東代表のヨツフェを私的に招き、日ソ国交回復に尽力する。二三年の関東大震災直後、第二次山本権兵衛内閣の内相兼帝都復興院総裁となり、大規模な復興計画を立案。

政界引退後は、東京放送局初代総裁、少年団日本連盟（ボーイスカウト）初代総裁を務め、また「政治の倫理化」を訴えて全国を遊説した。一九二九年、遊説先の京都で死去。

## 「後藤新平の会」会員募集中

### ■活動内容

【定例行事】・年一回の大会

（公開シンポジウム）

・年二回の「会報」発行

【年会費】5000円（個人）50000円（法人）

【会員特典】藤原書店刊〈後藤新平の全仕事〉に含まれる書籍を2割引（税・送料別）で購入できます。

【事務局】藤原書店内（本紙表面参照）

### ■入会方法

ご希望の方は、入会希望の旨をお書き添えの上、下記口座番号までご送金下さい。

[振替 00100-4-537717 後藤新平の会]

## シリーズ 後藤新平とは何か

自治・公共・共生・平和

後藤新平の全仕事を貫流する「思想」とは何か。後藤自身のテキストから読み解く。

後藤新平没八十周年記念事業実行委員会編

## 自治

二二〇〇円

〈特別寄稿〉鶴見俊輔 塩川正十郎 片山善博 養老孟司 後藤の根幹「自治」の思想とは何か？

## 官僚政治

二八〇〇円

〈解説〉御厨貴 〈特別寄稿〉五十嵐敬喜 尾崎護 神原英資 増田寛也 近代社会が不可避に直面する「官僚主義」に後藤はいかに向き合ったのか？

## 都市デザイン

二八〇〇円

〈解説〉青山侷 〈特別寄稿〉青山侷 陣内秀信 鈴木博之 藤森照信／田中重光・西澤泰彦 近代日本「都市計画の父」の全構想を明かす。

## 世界認識

二八〇〇円

〈解説〉井上寿一 〈特別寄稿〉小倉和夫 佐藤優 V・モロジャコフ 渡辺利夫 地政学的共生思想と生物学的原則に立ち、後藤が示した日本の針路。

## 〈決定版〉正伝 後藤新平

（全8分冊）（別巻一）

鶴見祐輔 著／一海知義 校訂

### 1 医者時代

前史〜一八九三年

### 2 衛生局長時代

一八九二〜一八八八年

### 3 台湾時代

一八九八〜一九〇六年

### 4 満鉄時代

一九〇六〜一〇八年

### 5 第二次桂内閣時代

一九〇八〜一六年

### 6 寺内内閣時代

一九一六〜一八年

### 7 東京市長時代

一九一九〜二三年

### 8 「政治の倫理化」時代

一九二二〜二九年

### 四六変型上製 各巻約七〇〇頁

各四六〇〇〜六二〇〇円

### 別巻 後藤新平大全

前史から没後の動向も収めた詳細年譜、後藤新平の全著作を初めて網羅した文献一覧、約百項目にわたって示された全仕事、後藤をめぐる人脈を示す主要関連人物紹介、二五〇〇名に及ぶ「正伝」全人名索引など、研究者、図書館、歴史ファン必携の一冊！四八〇〇円

\*表示の価格は本体価格